



日 時	2021年12月10日(金) 19時00分～20時10分
場 所	板橋区立若木小学校 多目的室
出席者	12(【地域委員】8名、【行政委員】3名、【若木小学校教員】1名)
欠席者	1名(【地域委員】1名)
傍聴人	4名

### 議事概要

#### 1 委員長挨拶

委員長は、次のことを語った。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本日もオンライン併用の準備があること
- ・6年生 PTA 行事に伴う、会議の開催時刻繰り下げ協力に対する謝意
- ・4名のオブザーバー出席についての承諾
- ・CS委員会で承認した感染症対策を講じた二学期学校行事の中で、音楽会については、換気の徹底、観客の制限(全校児童×1/2)、合唱やリコーダー等は行わないなどの配慮が見られたこと  
 なお、換気の徹底については、文科省ガイドラインが例示する方法によりCO2モニタで計測したところ、比較的良好な状況であったこと。不織布マスクの着用率については、学年により4割から7割の開きがあることから、今後の状況によっては、児童の安全を考慮し、保護者の案内があってもよいのではないかとということ。

#### 2 校長、教職員より

##### (1)CSマイスターの紹介について

- ・校長がオブザーバーとして参加のCSマイスターについて紹介した。
- ・校長は、配布資料を使う中で、児童の学習支援など地域の力を借りながら解消していきたいと考えていることを語った。

##### (2)学校評価について

校長が、資料をもとに保護者向け学校評価ならびにCS委員向け学校評価について説明した。

校長は、保護者アンケートについて、本年度よりwebを用いて実施することを紹介した。また、結果については、集計後に委員に案内することを連絡した。

校長は、CS用の評価用紙については、一番下に「分析コメント」のみについて回答いただきたいことを案内した。

なお、保護者向けアンケートについては次のような意見が出た。

- ・学年・学級・番号などを入力することで個人が特定されることや兄弟が複数名いることにより全てについて回答する必要があるか。
- ・同一人物が複数回答するリスクを回避するため等により記名方式等がよいことや、兄弟関係によりクラスの状況も異なり、1回答しかできない場合、保護者が回答に困る可能性があること。よって、回答は任意であることから、全数調査が望ましいと考えられること。
- ・保護者からアンケートを取った際に、学校側からフィードバックはあるか。

保護者アンケートについては、CS委員会として次のように意見集約し、校長に判断を委ねた。

- ・今回の校長説明は、従来の紙ベースがフォームに切り替わったという話であり、この点については異議がないこと。
- ・フィードバックについては、全ての保護者自由記述に回答できなくとも、プラスマイナス両面の意見について、可能な範囲でフィードバックを検討いただくこと。なお、教員に対する評価の中で課題がある場合には、校長として人材育成の視点も必要との話があったことから、そのタイミング等については、適切な時期に実施いただくこと。

#### 3 学校地域支援本部より

##### (1) 行事関係の支援について

- ・委員が活動の様子を連絡した。コロナ対策をし、ボランティア数を絞る中で、教育活動を支援したことを紹介した。活動としては、第3回CS委員会の連絡に続き、日光移動教室説明会、教育科学館の付き添い、縦割り遠足の交通擁護、就学時検診の手伝いなどを紹介した。

## (2) 今後について

・3学期は、次年度のボランティアを増やしたいことを語った。また、コーディネーターの情報交換会に参加したので、その内容を参考にしながら次年度につなげていきたいことを語った。

## 4 PTA より

(1) 会長が、6年生向けイベントを無事に開催できたことを紹介した。

・保護者や卒業対策委員の協力のもと、児童らも良い表情が見られたことを語った。また、校長や副校長をはじめとして、教員の協力があったことを紹介した。

(2) 今後の活動について

・会長が3学期に「けん玉チャレンジ」を実施することを語った。また、給食のデザート一品提供について、アレルギーも考慮しながら検討していくことを語った。

## 5 各委員から

委員長が委員らの発言の視点として、学校評価を控えていることから、例えば「学校の教育活動について協力できた点」や「学校評価そのもの」など一人1分程度で発言を求めた。

また、その後、委員長は、CSマイスターが各CS委員会の活動の様子を参観していることから、各地でどのような課題や対策が取られているかについて、5分程度の助言を依頼した。またさらに、各委員からCSマイスターに聞いてみたいことが出た際には、可能な範囲で回答いただくように求めた。

以下、各委員からの意見抜粋である。

- ・コロナ禍での教育活動に対する関わり方が難しい側面がある。こうした状況下でのような学校への関わり方があるかCSマイスターに質問したい。
- ・CS委員会内で出た話も参考にしながら活動に反映させたりしている。また、けん玉の話もあいキッズが関われる部分があると考える。
- ・一日でも児童らに関われるようにしたい。CS委員会においても引き続き、様々な意見を聞きながら学校より良くしたい。
- ・学校に来る機会はなかなか無かった。青健を通じた活動においても、コロナ禍で中止が続き、先日、やっと行事らしい行事ができた。ドッチボールを企画していたが、参加数が少ないなど、今後のあり方も含め検討したい。
- ・支援本部は委員の協力のもと、年を経る中で、改善がみられてきた。
- ・音楽会をどのように開催するか興味をもって拝見した。開催形態を変える中で、楽器を充足させた区教委に対して感謝したい。
- ・地域の方をゲストティーチャーとする授業について検討してほしい。例えば、社会人とは何か、なぜ勉強するかなどを語ることも考えられる。
- ・町会からの依頼として、志村小学校と志村第四中学校が一貫校になることに対するアンケートを委員にお願いしたい。
- ・不登校問題や挨拶などに興味関心をもって活動している。虐待問題などもあり子供らの状況が多様化し困難な状況下で活動している。
- ・ボランティアの集め方が課題である。活動の様子を見に来ていた保護者もいたため、コロナ禍ではあるが、保護者のお手伝い参加も検討課題である。また、卒業生の関わりなども選択肢として考えられる。
- ・防災ウォーキングを2年ぶりに実施した。来年度は若木小学校が起点になる。
- ・2月に中台地域センターで作品展を実施する予定がある。展示場所を広くするが、作品監視ができないのでその点含みおき応募してほしい。
- ・日頃の地域の支えについて感謝したい。若木小の在職が長い教員が極めて少なく、担当者がその担当業務について不明であるなど引継ぎが課題である。
- ・今年度着任したばかりであり、周りに声をかけながら業務を担っている。
- ・本日の6年行事もPTAの協力を得ながらできたのは大変ありがたく、児童らも喜んでいて。
- ・第3回CS委員会にて教務主任より、欠席者の児童に教室から授業を配信すると、教員がデジタル教科書を使った授業ができない点について、他地区では、配信希望の児童端末を配信用に用い、児童は家庭で別途用意した端末にして授業を視聴するように指示している自治体があるので紹介する。
- ・職員が大量異動に伴い入れ替わっている。教員と地域の方が互いを知る機会を設けることが必要である。

CS マイスターからは次のようなことが語られた

- ・委員が前向きに話をすることや、民生委員や地域センターなど、校長の考えを後押ししているところが若木小の CS 委員会のよい点である。
- ・委員から頂戴する意見として、学校教育活動に協力できた点などを入れているのはよい。
- ・CS 委員と教員とが熟議する機会を設けるとよい。  
このほか、自身が委員を務める CS において、コロナの状況下でどのように学校と関わったかについて、語られた。

各委員等及びますスターから出た意見により、学校には次のように提言したい。

- ・教職員の大幅な入れ替え及びコロナ禍による影響により、学校と地域との関わりが希薄になっている。よって、教職員と CS 委員とが熟議する機会を適切に設けるとよい。
- ・ゲストティーチャーとして、地域人材を活用する機会を充実させるとよい。

【次回予定】第 5 回 2022 年 3 月 1 日(火)18:30～

#### 6 備考

今回も、若木小学校教員より勤務時間外にご参加をいただいた。感謝申し上げたい。

作成者	CS委員長	確認者	校長
-----	-------	-----	----